



**鐵輪** 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成30年2月号

## 社長 年頭挨拶

あけましてお目出とうございます。この新年は比較的好天に恵まれ良いお正月を過ごされたことと存じます。

さて昨年は7月に九州北部の集中豪雨で大きな災害があったものの例年に比較すれば少ない年であったと思います。又景気も緩やかな回復基調が継続し、特に年央以降は中小企業にとっても景気の回復を実感できるほどになりました。

鉄鋼業界においても、世界の鉄鋼需要は堅調で、昨年の消費量は16億2200万トン程で過去最高になった模様です。一昨年と比較してほぼ1億トン増加となりました。加えて中国の地条鋼と言われる粗悪品の生産に対し国が全廃措置を取ったことで、過剰生産、廉価な輸出による市場の攪乱問題も大きく改善されました。

さて本年はどうでしょうか。景気は引き続き先進国を中心に概ね堅調に回復上昇すると予想されています。日本でも需要は底堅く、自動車産業以外でも、五輪に向けた需要、人口減少に対応すべく自動化等の産業向け需要など、拡大が続くと予想され、最近では最も恵まれたスタートの年と言えるのではないのでしょうか。

このような状況下、わが社の取り組むべき課題について

- 1) 先ずはモノづくりの基本、原点をしっかり守ること  
安全に  
良いものを  
安く

提供できる、製造力を絶えず鍛えることです。安全は何より優先され、作業に無理、無駄の動きがないか見直してください。良いものを作ること、昨年はこの点で日本のモノづくりが大きく信頼を失う事件が多発しました。非常に残念なことですが、我々も「他山の石」としたい。安く作ることは、わが社の製品の競争力を常に維持するうえで重要です。

いま世界は第4次産業革命の時代を迎えたといわれています。モノづくりの新時代を迎えたわけです。人工知能AI、IoT (Internet of Things) の活用など、これらをわが社でどう取り組み採用するかを、他社に先んじて検討したいと思います。

- 例：人に代わって機械がする、否人以上に正確に均一に機械ができる  
自動化、ロボット化、AGVによる搬送等

- 2) CGF80の最終年度にそれぞれの工場でこれらを取り込んだ計画を追加すること
- 3) 最後にCGF80を確実に達成すること

この中期計画も、丁度半分ほど経過しましたが、これまでのところ計画を少し上回る実績を上げています。そして今年の8月には宮崎精鋼は創業80年を迎えます。

「温故知新」「不易流行」創業時からの80年を振り返り、宮崎の精神、文化を大切に、原点を変えることなく、しかし時代の流れには敏感にかつ柔軟に対応する力をつけましょう。

7月にはみんな80周年を祝い、同時に新しい、宮崎精鋼のスタートとしたいと思っています。



年頭挨拶の様子

